

## (2)管内の概要

当管内は、大垣市、海津市、養老郡（養老町）不破郡（垂井町、関ヶ原町）、安八郡（神戸町、輪之内町、安八町）からなる西濃地域及び揖斐郡（揖斐川町、大野町、池田町）からなる揖斐地域の2地域2市4郡（2市9町）であり、圏域の総面積は1,433.4 km<sup>2</sup>で県全体の13.5%を占めている。

管内人口は、390,429人（平成19年10月1日現在）で県全体の18.6%を占めている。また、65歳以上の老年人口の割合は年々増加の一途をたどり、平成19年は21.6%を示し、全国、県全体とほぼ同じ傾向で人口構造の高齢化が進んでいる。

地勢は、県の西南端に位置し、北部は能郷白山を境に福井県と、東部は長良川・木曾川を境に愛知県と、西部は越美・伊吹山地、鈴鹿山脈、養老山地を境に福井県、滋賀県、三重県にそれぞれ隣接している。

圏域北部は、1,000メートル級の山地が連なり、南部へ揖斐・長良及び木曾川の三川が流れ、それによってかん養された肥よくな平野部を形成し、中央部は、中京・関西・北陸を結ぶ交通の要衝として、また豊富な地下水を利用した化学・機械などの製造業を中心とした工業地帯として発展を続けている。

圏域は、西濃地域においてはソフトピアジャパンを中心に情報化推進拠点が整備され、揖斐地域においても自治体ネットワーク施設整備事業等が積極的に実施されるなど県内における情報産業の牽引的役割を担っている。また、管内には名勝史跡が多く、関ヶ原の古戦場を始めとし、谷汲山華厳寺、横蔵寺、お千代保稲荷、国営木曾三川公園、国定公園の揖斐峡、養老公園、伊吹山ドライブウェイ、水門川の住吉灯台、南宮大社などがあり、観光客や参拝客で賑わっている。

交通は、東西に名神高速道路、国道21号、303号、東海道新幹線、東海道本線、南北には国道258号、417号、近鉄養老線が走り、基幹交通網を形成し、これに主要地方道・県道などが縦横に連絡して四通八達しているが、さらなる地域発展のために東海環状自動車道・西回りルート of 早期整備が期待されている。

しかし、揖斐郡北部は、山間へき地が多く過疎化とともに高齢化が目立ち、今後も産業の振興、医療の確保等新たな施策を実施し、福祉の向上を図ってゆくことが望まれる。

このような情勢の中で、それぞれの地域特性に応じ、住民サイドに立った保健・医療・福祉の連携のもと、住民の健康づくり、住み良い環境づくりのための施策を進めているところである。